

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛驒特別支援学校高山日赤分校

学校番号	119B
------	------

自己評価

学校教育目標	主体的に生きる力を育てる ～気づく、考える、動く～
--------	---------------------------

評価する領域・分野	防災教育	
現状及びアンケートの結果分析等	<p>車椅子の児童生徒の災害時の避難について、様々な災害を想定した命を守る訓練を計画的に実施できた。また、今年度は地域の方に実際に訓練に参加していただいたり、地域の防災士から訓練についてその都度助言をいただいたりと、地域と連携した防災教育が前進したこともあり、アンケート結果では、緊急時対応や防災への取組について肯定的な評価が得られた。一人一人の状態に応じた安全で迅速な避難について、今後も改善を図りながら継続して取り組む必要がある。</p>	
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災士と連携し、非常時の体制の確認や訓練を行う。 ・地域の方の参加による訓練の体制や対応を検討する。 	
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・保健安全部を中心とした災害時対応の確認や訓練を実施する。 ・管理職、保健安全部が、地域の方との連絡調整を図る。 ・PTAと連携した防災についての研修会を実施する。 	
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、火災、避難場所への移動等様々な想定での体制の確認や訓練を行う。 ・地域の防災士に命を守る訓練を見学していただき、避難体制や職員の動き等への助言を得る。 ・まちづくり協議会との連携により、地域の方に命を守る訓練に参加していただき、訓練時の動きについて検討する。 ・非常食体験を行う。 ・PTAの研修会で避難所の防災用品等について知る機会をもつ。 	
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・防災士等専門家の助言を受け、非常時の体制や避難について見直すことができたか。 ・地域と連携した訓練により、安全な避難体制を確認することができたか。 	
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・火災の際の階段避難や地震で物が散乱した中での車椅子移動、非常食体験等、様々な想定での訓練を実施することができた。 ・防災士による改善点等の指導により、火災の際の階段避難で、順番を待つ児童生徒が煙を吸わないよう、2階廊下に防災カーテンを設置した。 ・防災士から教職員の起震車体験の機会をいただき、車椅子が倒れないために介助者がどの位置で、どのような体勢で、どの部分を押しえるとよいか確認することができた。 ・命を守る訓練に、まちづくり協議会の方に参加していただき、階段避難の際の車椅子や物品の移動、点呼補助等、地域の方でもできる動きを確認し、地域の協力を得た避難体制を考えることができた。 ・PTA活動で、避難所で使用する段ボールベッド等の防災用品を実際に組み立てる体験をしながら、防災士による講話を聞き、防災士も交えた意見交流を行った。 	
評価の視点		評価
① 専門家の助言を受けて、避難体制の改善を図ることができたか。		(A) B C D
② 保護者と共に防災について考えることができたか。		A (B) C D
③ 地域と連携した防災体制を検討することができたか。		(A) B C D

成果・課題	総合評価
<p>○地域の方に実際に命を守る訓練に参加いただき、どのような協力を得られるかを具体的に確認することができた。また、次年度以降もまちづくり協議会の方や近隣の方に協力をいただく了承を得られた。</p> <p>○車椅子使用の児童生徒の安全な避難方法について、防災士からの助言を踏まえ、実際の状況を想定した訓練を計画、実施し、環境整備を検討し、防災への取組を進めることができた。</p> <p>○防災への意識を高めるための、専門家を交えたPTA研修会が実施できた。</p> <p>▲学校における防災教育は充実してきたが、児童生徒の居住地における避難体制が整うよう市町の行政に働きかける必要はある。</p>	(A) B C D
<p>来年度に向けての改善方策案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も具体的に様々な状況を想定し、対応の検討や訓練、防災についての研修を継続する。 ・今後も地域の方に訓練に参加していただき、協力体制を構築していく。

学校関係者評価 (令和5年12月1日実施)

<p>意見・要望・評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育は地域の人も巻き込むことで、実際の姿が理解してもらえて、より実践的な協力体制、方法につながると思う。また、非常食を食べる機会を作ったのは、とてもよいと思う。 ・防災教育が実践的でよいと思う。 ・地域の防災活動では、当校の児童生徒のことも要援護者として念頭に置きながら考えていきたい。 ・教職員でなくてもできる部分は、地域の人材を生かしてほしい。具体的にどう助けてほしいか、何をしてほしいかを伝えてもらえるとよい。今後も協力していくが、地域のマンパワーがまだ足りないと感じている。 ・防災教育は、学校の中だけで終わらず、地域の力を借りることで、地域も困り感を認知する。自分も災害時の車椅子の方の避難について初めて考えた。病院などでも必要なことである。当事者が声を出すことが大切である。
